



伊勢志摩の朝焼け

三年目に向けての先憂

共和病院 院長
安藤 勝久

今年には院長就任3年目に入ります。古来、『三』は一つの区切りであり、様々な言葉があります。味噌なら「三年味噌」といわれるように3年の熟成で美味しくなるといわれますが、修行となると話は変わります。尺八なら「顎振り三年」といわれるように、顎の振りで音の加減ができるようになるだけでも3年はかかり、3年などまだまだ序の口という意味になります。しかし、さしあたり3年は心して努めないことには「石の上にも三年」にも至らず、始まりもしないという意味ではいずれも同じです。

創刊3号あたりで人気なく廃刊になるような雑誌を「三号雑誌」と称しますが、テレビ隆盛の最近では、連続ドラマの“シーズン”と言い換えた方が分かりやすいでしょう。初出のシーズン1で人気が出れば続編が制作されてシーズン2となります。2では1で解明されなかった謎を少しだけ明らかにしながら、1の勢いのまま展開してゆけば3につなげられますが、3となると謎ときの答えを示さないでいては次のシーズンはなくなります。結局、いくら良い作品であっても新たな仕掛けを組んでゆかなければ、飽きられてあっさり打ち切りになってしまいます。

この2年間で振り返ってみると、就任初年は日々がむしゅらに

目前のことを処理することで精一杯でしたが、周囲の支援で方向を外すことなく継承することができました。就任2年目、時には顔をあげて周囲を見渡すことができるようになったものの、まだ先を見通すまでの余裕はありませんでしたが、引き継いだ貯えをうまく使いながら勢いを保つことができました。そして、迎える3年目、真価を問われる正念場のシーズン3です。

「三戒」の心得を持ちて自らを律し、然して、自ら悟り、他者を悟らせ、さらに悟りの働きを完全となすべく「三覚」に至るべし。そこまで高邁な実践ではなくても、それに匹敵する気概で臨み、これまでの勢いを失うことを恐れて守勢に回ることなく、こここそ気を引き締めて攻めの意気込みで改めてスタートすることこそが肝心と考えています。当院の善き伝統を基線として踏襲しつつ、時代の流れに即した新規の考えを導入し、常に内にも外にも魅力ある存在であり続けること、そして、それが自然体での行ないの結果として形成されてゆくことが目標です。

新年を迎え、春に向かって「三寒四温」と着実に歩みを進め、「福德の三年目」が花開き、いつしか先憂は消え去り、おのずと後楽を迎えられますように、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT

もちつき大会



平成22年12月1日(水) 歳末の恒例行事である『もちつき大会』が実施されました。この『もちつき大会』は、当院の創設者である故 加藤邦之助 前名誉院長の、患者様には『入院生活を少しでも快適に』、職員には『日頃の業務ご苦労さん』という想いから始まり、創設から長年にわたり継続されている伝統の行事です。まさに当院の理念である『優しい医療・楽しい職場』の原点といっても良いと思います。

今年は、「搗き始め式」に趣向を凝らし、理事長、院長をはじめ、大勢の職員が参加

し、盛大に行ないました。餅を搗く加藤理事長の力強さと榎本名誉院長の上品さが、作業療法士の安藤が即興で叩く太鼓のリズムと重なり合い、まさに歳末の風物詩といった素晴らしい催しとなりました。「楽しい職場」が実践できているからこそこのマンパワーの結集を感じました。

もちつき担当職員の他にも、診療部もちつき担当「搗きのなべちゃん」こと渡邊医師や、もちつき部長?大畑看護師を筆頭に職員が積極的に活躍しました。患者様は普



段見られない職員の姿に驚き、保育所の子供達は、自分より大きな杵で搗いて楽しみ、「搗き立てアツアツの愛情のこもったおもち」に、きっと満足していただけたのではないのでしょうか。今回は「もちつき大会」という行事を通して患者様に関わらせて頂きましたが、本来の精神科リハビリテーションにおいても「優しい医療」が患者様に提供できるよう、日々努力していきたいと思っております。

作業療法課 梶 佳稔



クリスマス会

平成22年12月24日(金)『クリスマス会』が開催されました。当院の多目的ホールを飾りつけ、クリスマスの雰囲気一色の会場で、ケーキや温かい飲み物とともに職員による様々な演奏を提供し、入院及び通院患者様に過ごしていただく毎年のクリスマス恒例行事です。

今回は演奏者を職員へ公募し、4名の立候補・推薦がありました。C-3病棟ケアワーカーの今村(ベース担当)、C-3病棟看護師の丹羽(ギター・ボーカル担当)、薬剤師の佐藤(ヴィオラ担当)、そして作業療法士の安藤(ピアノ担当)が、それぞれ定番のクリスマスソングから、

懐かしの童謡、ブルースのスタンダードナンバーまで幅広いジャンルを演奏し、聴いていただきました。

今年のケーキを楽しみに来場される方、演奏を聴きに2度3度来場される方、飲食が終わった後もしばらく演奏を聴いて余韻に浸る方、昔懐かしの童謡に涙を流し感動されている方…厳かであ



りながらも温かい催しになったのではないかと思います。

入院患者様、フリージア(当院デイケア)メンバー様、通所リハビリ利用者様やそのご家族など、あわせて約220名の方が来場され、師走という多忙な時季のひとつのオアシスとなったのではないのでしょうか。

作業療法課 梶 佳稔



臨地実習指導を 振り返って

わたしが実習指導に関わり約6年が過ぎようとしています…時が経つのが早く感じる今日この頃ですが、その間にも数多くの実習生が看護師への道に進んだことは嬉しいことであり、また指導者たちのモチベーションアップにも繋がったことと思います。当院の看護部には臨地実習指導者委員会があり、その名の通り看護学生の実習指導にあたる役割を担っています。指導者は精神科実習を受け入れている4病棟で、合計14名います。

現在当院で実習していただいている学校は、愛知県立桃陵高等学校、名古屋市医師会看護専門学校、半田常滑看護専門学校、藤田保健衛生大学、日本赤十字豊田看護大学と全部で5校あります。また今年からは日本精神科看護技術協会の認定看護師育成の実習病院にも指定され、早くも2名の方が認定看護師の実習を済まされました。これだけの実習学校を受け入れていますので、指導者全員で頑張っており取り組んでいます。

実習指導の現場における指導者の悩みの種は、ジェネレーションギャップと呼んでいいのかわかりませんが、実習方法や実習生の考え方がどんどん変化しており、ついていくのが必死なことです。誌面の都合上詳しく説明することができませんが、すごいです。(笑)

最近では指導する度に新しい考え方や生き方を学ばされることもあり、この責任を任されていなければなかなか関わりを持つことがない年代の実習生が多いことで、わたしたちが指導するのと同じように、わたしたちもいろいろ教えてもらったり、感じさせてもらったりしています。これからも持ちつ持たれつの関係で実習指導を続けていきたいと思っています。そして正しい精神疾患の理解に繋がっていくことを期待し、日々研鑽を怠らないようにしていきたいです。

臨地実習指導者委員会 新美 恵介



人命救助で表彰!

当院 理学・言語療法課の矢野嘉胤さんを含む5名に対し、12月20日 知多市長から感謝状が贈られました。

12月5日(日) 知多市民体育館にてハンドボールの練習試合中、男性が急に倒れ心肺停止に陥りました。その場にいた5名は すぐやく119番に通報し、救急隊が到着するまでの間、心臓マッサージ、人工呼吸を行ない、AED(自動体外式除細動機)を使い、救護処置を行ないました。倒れた男性は救急車到着前に呼吸と脈が回復し、一命を取り留めました。知多市では、AEDを用いての救護は初めてとのことでした。

矢野さんは「AED講習会への参加は誰にでも必要だ」と、強く感じたそうです。



知多市長から感謝状を受け取る矢野嘉胤さん

保育所にもサンタ?

平成22年12月22日(水)「院内保育所たんぼぼ」に一足早くサンタがトナカイを連れてやってきました。

実はこのサンタ、加藤理事長が自慢の髭を活かしてサンタに扮し、毎年 保育所の子供たちにプレゼントを持ってやってきます。今年もたくさんの笑顔に迎えられ、保育所は嬉しさいっぱいでした。



編集後記



当院では、入院されている患者様に季節を感じ楽しんでいただけるよう、年間を通して様々な行事を開催しています。春の花見、夏の盆踊り、秋の文化祭につづき、冬ならではの行事、もちつき大会とクリスマス会を今号では紹介いたしました。活気ある会場の賑やかな雰囲気

が読者の皆様にも伝わりましたでしょうか?

さて、今年の風水ラッキーカラーはラベンダーです。アロマとまではいきませんが、心が和む誌面を楽しんでいただけるよう、これからも様々な話題を皆様にお届けしていきます。

広報誌委員会 丸山 浩史

インフルエンザ 対策

例年、インフルエンザ患者の発生は11月上旬から始まり、1月下旬から2月に流行のピークを迎え、4月上旬までには終息するのが一般的ですが、2009年は4月にメキシコで発生した豚由来の新型インフルエンザ(A/H1N1)が5月に日本に上陸して、6月中旬から日本各地でインフルエンザ患者の発生が聞かれるようになりました。10月から11月にかけて患者数が急激に増加し、12月に入ってから患者数も減少傾向が見られるという、例年とは異なった流行パターンでした。2009年4月25日に世界保健機関(WHO)から発表された「国際的に懸念すべき公衆衛生上の危機」(Public Health Emergency of International Concern, PHEIC)は、2010年8月10日に解除の声明が発表され、2010年後半の世界状況は、南半球・北半球とも新型インフルエンザは概ね落ち着いていました。

2011年を迎え、いよいよインフルエンザ流行の時期がやってきましたが、もうインフルエンザワクチンの接種は済みましたか? インフルエンザ予防は、まずワクチン接種です。可能な方はワクチン接種を受けていくとよいでしょう。

インフルエンザにかからないための予防は?

- 1 流行前にワクチン接種を受けましょう。
※今年のインフルエンザワクチンは、A型H3N2(香港型)とB型及び昨年流行したA型H1N1(新型インフルエンザ)が入った3株混合のワクチンとなっています。
- 2 外出後の手洗い・うがいなどを励行しましょう。
- 3 適度な湿度を保ちましょう。
- 4 十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取しましょう。
- 5 人混みや繁華街への外出を控えましょう。



インフルエンザにかかってしまったら?

- 1 安静にして休養を取りましょう。
- 2 水分を十分に補給しましょう。
- 3 咳・くしゃみのある場合はマスクを着用しましょう。
- 4 人混みや繁華街への外出は控えましょう。



● 具合が悪い場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

院内感染対策チーム 齋藤 玲子

お知らせ

- 3月12日(土) 第2回共和病院研究発表会を行います。
場所/共和病院C館4階 多目的ホール



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベラアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報には保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人
共和会 **共和病院**
愛知県大府市梶町2-123
TEL.0562-46-2222(代)
URL <http://www.kyowa.or.jp/>